

いじめ問題にどう取り組むか

死なないで

品川区の中1の自殺の原因もいじめだった

- ・ 大津市のいじめ自殺を受け、「いじめの実態把握のための緊急調査」(7月)を実施
 - ・ 道徳教育での子どもの心に迫る指導
 - ・ 各学校で、小さなサインを見逃さないためのいじめの状況を把握する情報交換(週1回)
 - ・ 心理専門相談員による電話相談、学校巡回相談
- などなど、区の教育委員会もさまざまに取り組んでいる。



「いじめは絶対いけないこと。いじめをなくすにはどうすればいいか」をこども自らが常に考えられるような教育をお願いしたい。加害者となる子どもは何らかの問題を抱えている。その問題解決のためにも、先生に子どもと向き合う時間をもっと確保できればいいと切に思う。教育現場は忙しすぎる。何事にも追いついて立ってられている子どもたちのゆとりのなさも、いじめを増加させる一因だ。こども時代のゆっくり過ごす時間は、大人になってからの発展・飛躍の鍵だと思うのだが、今の日本の、型にはめた、忙しすぎる教育は困ったものだ。

尾久初空襲から70年

ようやく文化財・史跡の説明板が設置されました

1942(昭和17年)4月18日、真珠湾攻撃からわずか4ヶ月後、日本本土が、アメリカ軍によって空爆された、最初の場所が尾久であったという史実を、郷土史を学び、戦争を考える機会にしたいと取り組んできた。地元の尾久橋町会の尽力により、「尾久初空襲を忘れないコンサート」が毎年行われ、小中学校の副読本にも掲載され、今年3月には、教育委員会の説明版が爆撃地の一つである、熊野前保育園脇に建てられた。地域の歴史として、語り継がれることを願う。

忘れてはならないのは、この、初空襲で一番人命が失われたのは、中国であったということである。アメリカ軍戦闘機B25は、太平洋上の空母ホーネットから飛び立ち、尾久を始めとして東京・名古屋などを爆撃し、中国まで飛行した。日本の占領地に着陸した米兵を探す際、日本軍は中国人を殺戮した。悲劇としか言い様のない史実である。

また、当時、この初空襲を軽微と報告した大本営は「米軍機を9機爆撃せり」と真っ赤な嘘を発表した。米軍機は撃ち落とされることなく、中国などへ逃れたのにもかかわらず…。初空襲について学べば、戦争のいろいろな側面が見えてくる。戦争反対!



日暮里富士見坂からの眺望の危機

文京区の不忍通りの11階建てマンションの建設で、23区内で唯一、地面に立って見ることの出来る富士山が完全に見えなくなってしまうことが判明。昨年12月、富士見坂の眺望を「眺望遺産」として保全しようというイコモス(国際記念物遺跡会議=世界遺産登録審査などを行っているユネスコの諮問機関)の決議が、東京都や荒川区・文京区・台東区・豊島区・新宿区にも送付された。東京都や各区の動きは鈍い。

日暮里富士見坂を守ろうという運動は、守る会が結成されてからでも12年がたつ。マンションができるたびに何とかできないのかという声があがり続けてきた。「眺望遺産」を守るための周知や規制など、「夢のまた夢」なのか……。

無料弁護士相談を
ご利用ください

毎月第3土曜日 11時から

せの事務所にて

(日暮里駅から徒歩5分)

予約制、日時の変更もできます。

ご予約は、せの喜代まで

TEL/FAX 3891-0203